

本間委員**1 活動・取組内容**

◇個人の生活や暮らしの中で

- ・自治推進会議への参加
- ・子ども子育て会議への参加
- ・根室地方 P T A 研究大会と母親研究会を教育委員会と協力し参加

◇所属する団体・職場で

- ・ 町民の方達と情報共有を図るため、ブログや SNS を開始
- ・ 町民活動団体の方達のため、助成金の情報を提供
- ・ 町民の方達に参加してもらおう取り組みとして景観学習、景観調査を自分たちでもやるし他の団体にも声をかけて協力してもらった。
- ・ 町内会の全戸調査を協力、企画、集計を実施
- ・ 小規模多機能自治の講演会で会場の準備や講師の案内などの協力を行った。
- ・ 社会教育主事会主催のハイスクールフェスに参加し、他の活動団体にも協力してもらい、イベントの受付や抽選会を行った。

2 良かったこと・悪かったこと・感じたこと等

- ・ 企業の人たちと関わりがあまりない。企業の人たちが冬祭りに対してどういった事をやっているのかという事に興味があった。もっと色々な人たちとあって、その人たちが町でやっていること、必要としていること、これからどうしていったらいいか、色々話せる機会が増えたらと思っている。
- ・ 1人じゃできなかったことが、色々な人と関わる中で、出来るようなことが増えてきた。個人だったら制限があるが、団体であれば補助金等の申請もし易い。実行委員会だったらいつなくなるか分からないが、団体（N—C A N）というだけで信用が上がるような気がする。
- ・ 法人格はではないが色々なところから声をかけてもらっていて、団体を立ち上げて良かったと思っている。

■ 質疑

- ・ 活動をやろうと思ったきっかけは
→2009年に中標津に来た。2年くらいで転勤と言われたけど、住宅を買ったので。根室から転勤してきたが中標津はいいイメージ。住んでいる人が良く、自分もここに住み続けたいと思った。子育てするのにいい町だけど、自分にもっと出来る事はないか、子どもが大人になった時にもっといい町に出来ないか、10年20年後の中標津のために自分が出来ることないかと思ったのがきっかけ。

佐藤委員

1 活動・取組内容

◇個人の生活や暮らしの中で

- ・ 町内会に加入していないこともあり、町内会のイベントには出ていない。

◇所属する団体・職場で

- ・ JA なかしべつ、青年部、女性部と合同で昨年の5月に道路のゴミ拾いを行った。

2 良かったこと・悪かったこと・感じたこと等

- ・ 事前に町へ報告していたが、町のゴミ拾いの実施場所と重複していた。情報共有が出来ていたら効率よくゴミ拾いを行うことが出来た。

■ 質疑

- ・ 開催のタイミングは
→2年に1回実施している。
- ・ 町内会に入らない理由があれば
→以前は入っていたが自分が加入していた頃はあまり活動的ではなく、メリットを感じられなかったため。近年活発になってきたという話を聞いた。

千野委員

1 活動・取組内容

◇個人の生活や暮らしの中で

- ・ 町内会一斉清掃活動、もちつき大会に参加
- ・ 福祉に関する映画上映会の実行委員として運営協力

◇所属する団体・職場で

- ・ 社会福祉協議会が推進している地域福祉には「情報共有」「町民参加」「協働」の視点が含まれていることから、業務全般が当てはまる。
例) ボランティア活動の支援、福祉に関する講演会、高齢者の集まる場所作り等

2 良かったこと・悪かったこと・感じたこと等

- ・ 町内会については最近、役員をやっていないので、参加する側が多い。職業柄町内会に入らないという選択肢は中々難しい。以前町内会の役員をやっていたが、この仕事をしているから声をかけて貰いやすかったと思う。他の人はきっかけがなければ中々入りにくかったのだろうなと思った。しかし、引っ越して別の町内会になった今でも、以前の町内会の方に声をかけてもらっている。人のつながりは出来たが役員にならないとわからない。入りにくいと気持ちがどうにかならないかなと思う。そして町内会によって温度差が結構あるのでもうすこし平準化ができれば。声かけてくれれば役員やってもいいと思っているが、中々自分やら役員やりますとも言いづらい。今の町内会も子どもを連れて行くと話しかけてくれたりするのでありがたい。
- ・ 介護保険施設や保育園は名前を聞いたなら何をやっているか分かるが、社協は何をやっているのか分かってもらえない事が多い。自治推進会議もそうだが説明するのが難しい。一言で伝えられなく似たようなものを感じる。自治推進会議もそうだが社協も色んな人に知ってもらえるようなヒントがあるといいなと思った。

■ 質疑

- ・ 色々なことをしているが有効的な事業だけ行うということはないのか。
→仕事は増えてきているが、その事業を辞めることは難しい。新しい団体に業務を

引き継いでスリム化はしたいと思っている。

吉田委員

1 活動・取組内容

◇個人の生活や暮らしの中で

- ・ 町内会一斉清掃活動
- ・ 町内会の花見、七夕祭りなどの交流行事の運営、参加

◇所属する団体・職場で

- ・ 同上

2 良かったこと・悪かったこと・感じたこと等

- ・ 町内会の内容。29年度から班長をやることになり、その流れで町内会の清掃、花見、祭りの運営参加をしてきた。計根別地区は小さい地区なので周りを見ると皆知り合いで、職場の人はほぼ町内会に入っている。町内会の一斉活動に参加したが農協職員皆で参加している。七夕祭りも、休日だが気軽に参加して計根別地域の皆さんと交流・清掃活動している。農協の仕事だけでは関われなかった人と関われるのは良い事だと思う。

■ 質疑

- ・ 計根別学園が文部科学大臣優秀教職員表彰を受けたが学校との関わりはどのようなものがあるか教えてほしい。
→JA 計根別としては青年部で出張授業を今年度初めて実施した。また町内会としては、遠足の際、町内会の人が生徒に危険がないよう、周囲の安全を確認するなどのお手伝いをしている。計根別は地域に小学校から高校まで揃っている地域であり、子ども達が将来計根別に戻ってきてもらえるように試行錯誤している。

鳴海委員

1 活動・取組内容

◇個人の生活や暮らしの中で

- ・ 中標津町文化スポーツ振興財団理事
- ・ 中標津町教育委員会生涯学習委員
- ・ 中標津町子ども・子育て会議委員
- ・ なかしべつ祭り実行委員会
- ・ なかしべつ観光協会理事
- ・ 釧路方面青少年補導員連絡協議会
- ・ 中標津東小学校 PTA 役員
- ・ 中標津町都市計画審議会
- ・ 下水道運営委員会
- ・ 暴力追放運動推進協議会

◇所属する団体・職場で

- ・ 中標津町商工会理事
- ・ 中標津町地域材利用促進協議会委員

2 良かったこと・悪かったこと・感じたこと等

- ・ 2002年に中標津に来た当初は人も地域も分からなかったことから、最初に青年会議所に入会させてもらった。2009年に理事長をやらせてもらい、その当時は夜回り先生の講演会や、食育の事業を実施したこともあり、そのついで色々な役職をやった。PTAも青年会議所の繋がりがあり、入って今年で5年になる。(PTA)連合会は順番で会長になった。役が増えていくと活動も増える。PTAに関わることで、子どもを健康に育てるという観点が見えてきた。青年会議所も、子どもを健全に育てるという部分に携わってきて、子ども作りが町づくりの基本なのかなと思う。子どもを育てるうえで、その地域の人と連携を取らなければいけない。そのために町内会が必要になり、子どもを軸に町内会、各団体の協働が大事だなと思う。
- ・ 2020年までに中標津町は町内全ての学校を小中一貫校にするといっている。コミュニティスクールも町内会を中心に地域の皆さんと一緒に頑張っていかなければ

ればならない。

■ 質疑

佐々木委員

1 活動・取組内容

◇個人の生活や暮らしの中で

- ・ 町内会で、「町内会だより」を3年前より年4回発行
- ・ 町内会で、道路花壇の花植を毎年実施

◇所属する団体・職場で

- ・ 連合町内会で、昨年より「連合町内会だより」を年4回発行
- ・ 中標津小学校運営協議会で、学校区域の町内会に「中標津小学校だより」を回覧
- ・ 職場で春の町内一斉清掃に職場全員参加

2 良かったこと・悪かったこと・感じたこと等

- ・ 情報共有という事で町内会だよりを発行した。大事なものは、その団体が何をやっているかを皆に分かってもらう。評判がよく、町内会に入っていない人にも配った方がいいという意見もあった。
- ・ 全学区の会長さんをお願いして学校たよりを回覧している。
- ・ ゴミ拾いについては建設業協会からも数名出して欲しいと案内が来るが、職場では皆で参加するようにしている。やるとすがすがしく、自分たちに誇りを持てる。やってよかったという感動があると嬉しい。
- ・ 取り組みたいこととして町内会の問題がある。独身世帯もアパートもあり、公住道住含め300世帯あるが、町内会の加入率は30%弱。お年寄りがゴミをゴミ捨て場に持っていくのが大変になっている。
- ・ 中標津小学校の3割が生活支援を受けており、この状況ではその子達が教育に熱心に打ち込めないかもしれない。運営協議会で何か出来ないかなと思っている。

■ 質疑

上野委員

1 活動・取組内容

◇個人の生活や暮らしの中で

- ・ 町内会での一斉清掃活動参加
- ・ ゴミ0の日 町内一斉清掃への活動参加

◇所属する団体・職場で

- ・ 商工会女性部のまちなか花植え活動の参加協力
- ・ 福祉活動などの参加
- ・ 各祭りイベント等の参加
- ・ 子どもを対象とした社会体験事業の企画・実施
- ・ 各団体での講座などへの参加

2 良かったこと・悪かったこと・感じたこと等

■ 質疑